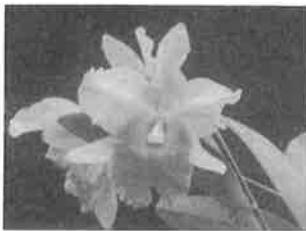


ラン科植物（カトレヤ系）交配種の開花について（その2）

磯部 実

本園ではラン科植物、特にカトレヤ属とその近縁属を中心に新品種作出及び類縁関係を探るために、開園当初より系統保存している原種を用いた交配を試みている。作出した交配種のうち6種類は12号（平成3年）で報告した。今回は12号の報告後から、これまで開花した10種類の交雑組み合わせについてその特徴を記録する。なお、すでにサンダー交配種リストに登録されている交雑組み合わせについては、登録名、登録年を付記した。

×Bc. (Bc. Adomiral Jellico × C. walkeriana)



偽球形は紡錘形。長さ約15cm、幅約5cmの長楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、1～3個の花をつける。花の自然開帳幅は約

13cm。花弁、がく片は濃桃色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く大きく展開し、周辺は波打ち、濃赤紫色、中心（のど部）は黄色。開花期は夏。香りがあり、花弁は厚い。交配番号250。

×Slc. (Lc. Dorothy Fried × S. coccinea)



偽球形は紡錘形、長さ約20cm、幅約4cmの長楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、1～3個の花をつける。花の自然開帳幅は約

7cm。花弁、がく片は濃桃色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く大きく展開し、周辺は波打ち、濃赤紫色。開花期は秋～冬。交配番号421。

×Lc. (Lc. Christmas Fairy × C. lueddemanniana)



偽球形は紡錘形。長さ約20cm、幅約6cmの長楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、1～2個の花をつける。花の自然開帳幅は約

11cm。花弁、がく片は桃色。花弁は幅広く、がく片は細長い。

唇弁は丸く、周辺は波打ち、濃赤紫色、中心（のど部）は黄色。開花期は秋～冬。交配番号503。

×Lctna. (Ctna. Keith Roth × L. pumila caerulea)



偽球形は長紡錘形。長さ約12cm、幅約2cmの長楕円形の葉を2枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、1～3個の花をつける。花の自然開帳幅は約7cm。花弁、がく片は赤紫色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く、周辺は波打ち、濃赤紫色。開花期は秋～冬。花弁は厚い。交配番号586。

×Lc. (L. anceps × C. amethystoglossa)

= ×Lc. Amethystella (1918)



偽球形は長い紡錘形。長さ約20cm、幅約6cmの長楕円形の葉を1～2枚展開する。展開する葉の中心から花茎を長く伸ばし、3～6個の花をつける。花の自然開帳幅は約6～7cm。花弁、がく片は桃色で、細長い。唇弁はばち形で、濃赤紫色。開花期は冬。生育は旺盛。

交配番号651。

×Blc. (Bc. Pastral × L. anceps)

= ×Blc. Penny Ann (1995)



偽球形は長紡錘形。長さ約25cm、幅約5cmの長楕円形の葉を1～2枚展開する。展開する葉の中心から花茎を長く伸ばし、3～6個の花をつける。花の自然開帳幅は約13cm。花弁、がく片は白桃色～薄桃色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く、周辺は大きく波打ち、濃赤紫色、中心（のど部）は黄色。開花期は冬。生育は旺盛。交配番号694。

×Lyon. (Schom. superbiens × Lc. Drumbeat)



偽球形は長紡錘形。長さ約30cm、幅約5cmの長楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を長く伸ばし、2～10個の花をつける。花の自然開帳幅

は約13cm。花弁、がく片は桃色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く、周縁は大きく波打ち、濃赤紫色、中心（のど部）は黄色。開花期は冬。生育は旺盛。交配番号703。

× Smbl. (*L. crispa* × *Schom. superbiens*)



偽球形は長紡錘形。長さ約25cm、幅約3cmの長楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を長く伸ばし、約10個の花をつける。花の自然開帳幅は約7cm。花弁、がく片は桃色で、細長い。唇弁はばち形で、濃赤紫色、中心（のど部）は黄色。開花期は冬。

生育は旺盛。交配番号706。

× Lc. (*C. walkeriana alba* × Lc. Edgar Ohmura)

偽球形は紡錘形。長さ約25cm、幅7cmの楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、2

植生調査及び収集その他

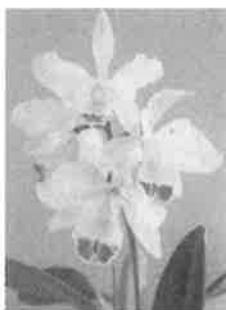
(平成12年度)

平成12年4月から平成13年3月までに41回、延べ70人が調査等を行った。

- (1) 調査
 - 植生調査
 - 企画特別展事前調査（牧野富太郎と植物画展）
- (2) 収集
 - 種子・果実の収集（種子交換用など）
- (3) その他
 - 植物学会、園芸学会、染色体学会、アジア太平洋ラン会議、日本植物園協会技術者講習会・植物研究会、樹木医研修、自然観察指導員研修、ガーデニング共同研究会、国公立園運営会議、緑の相談所連絡会議、他都市類似施設調査、出張広報など。

◇ 遠隔地

- | | |
|---------------|------|
| 平成12年4月21～22日 | 東京都 |
| 5月24～25日 | 東京都 |
| 6月4～5日 | 兵庫県 |
| 6月13～14日 | 兵庫県 |
| 8月4～5日 | 大阪府 |
| 8月4～5日 | 東京都 |
| 9月27～28日 | 東京都 |
| 10月4～6日 | 東京都 |
| 10月11～12日 | 栃木県 |
| 10月12～15日 | 神奈川県 |
| 10月15～28日 | 茨城県 |
| 10月26～27日 | 高知県 |
| 10月24日 | 島根県 |



～5個の花をつける。花の自然開帳幅は約11cm。花弁、がく片は白色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く、周縁は波打ち、白色、先端は濃赤紫色、中心（のど部）は黄色のセミアルバタイプ。開花期は冬。香りがある。生育は旺盛。交配番号713。

C. (C. Earl × *C. loddigesii alba*)



偽球形は長紡錘形。長さ約22cm、幅約5cmの長楕円形の葉を1～2枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、2～4個の花をつける。花の自然開帳幅は約11cm。花弁、がく片は白色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く、周縁は波打ち、白色、中心（のど部）は黄色。開花期は冬。交配番号747。

10月17～18日 東京都

12月15～16日 東京都

平成13年1月22～23日 愛媛県・高知県

1月24～25日 福岡県

1月29～30日 東京都

2月26～27日 東京都

3月13～15日 愛知県

3月16～17日 福岡県

3月21～22日 愛知県

3月23～24日 東京都

◇ 広島県内

平成12年4月10日 広島市安佐北区

5月19日 東広島市

5月25日 佐伯郡吉和村

5月31日 山県郡芸北町

6月19日 山県郡芸北町

7月27日 比婆郡西城町

7月28日 山県郡戸河内町

8月6日 佐伯郡宮島町

9月12日 山県郡筒賀村

9月24日 佐伯郡宮島町

10月16日 山県郡芸北町

10月17日 佐伯郡湯来町・佐伯町

10月18日 佐伯郡吉和村

10月19日 山県郡戸河内町

10月23日 山県郡加計町

11月8日 佐伯郡湯来町

11月20日 広島市安佐南区・南区

11月28日 佐伯郡宮島町

(濱谷修一記)